

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	- スーパー（企画担当） ゴルフ場（経営者）	- ・いまだに先行き不透明な部分もあり、若干、不安な面もあるが、出店の活況も一段落し、全体的に通常の営業体制に戻りつつあることから、しばらくはこの状態が続く。 ・一般客、特に観光客のトーナメント開催コースでのプレー嗜好が高まる。		
	変わらない	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者） スーパー（経営者）	・2月は年間を通して毎年売上が最も低い月であるが、営業戦略を進めることで期待ができる。 ・年末に競合店の出店があるなど競争が激化しており、来客数の増加にもかかわらず客単価は低下しているなど、売上が厳しい状況となっている。今後、数か月はこのような状況が続く。		
		衣料品専門店（経営者） 観光型ホテル（商品企画担当）	・冬物から春物に商品を一気に変えたため、これまでと変わらず推移している。数か月は、特に変わらない。 ・1月、2月の予約状況は前年同月比で1月が約5%、2月は約1%とそれぞれ下回っている。 ・集客状況では前年比プラスは難しい状況であり、スマトラ沖地震による大津波災害等によりマーケットの旅行マインドが冷え込み、旅行全体が落ち込む可能性もある。海外旅行から国内へシフトする可能性もあるが、現在のところ海外からの振替はみられない。		
		観光名所（職員）	・愛知県で開催される愛・地球博が3月に開催されることに伴い、沖縄への観光客数の減少が懸念されるなど、旅行環境が良くなる要素がない。		
		やや悪くなる	コンビニ（エリア担当） 家電量販店（従業員） その他専門店〔楽器〕（経営者） その他飲食〔居酒屋〕（経営者） 観光型ホテル（営業担当） 住宅販売会社（経営者） 住宅販売会社（従業員）	・安売り値引き合戦が再び始まっており、利益減等の悪循環が起きている。 ・いろんな意味で金回りが悪くなっている。タクシーや飲食店でも客が少ないとの声が多く聞かれる。デフレが加速している感じさえる。 ・今年の台風や地震の災害のイメージが不景気感を漂わせているように感じる。近郊に大型免税店がオープンしたことから、今後は人の流れが変化する。 ・平日の飲食注文数が減少している。一時期、高額商品も売れてきていたが、低価格で付加価値の高い商品の注文が多くなくなり、また客の入りもイベント時に集中している。 ・対前年同月比で予約状況が悪く、商品単価も下がっている。 ・三位一体改革の影響で地方財政は厳しい状況であり、公共工事が減少している。それに加え、資金繰りが厳しくなっており、同業者の倒産も増加している。 ・年末までの住宅取得特別減税が終了し、今後しばらくはマイホーム取得を後押しする材料がないことから、戸建て市場全体が厳しい状況になる。	
	悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街では、観光客の通行量はあるものの、売上にはなかなか結び付いておらず、また、観光客を対象とした同種の店が多くなっていることから、客割れの状態が起きている。 ・一般客は、周辺の大型店に流れていることから、商店街では大変苦戦しており、商店街の売上は今後も減退することが危惧される。		
	企業 動向 関連	良くなる やや良くなる 変わらない	- 建設業（経営者） 通信業（営業担当） 不動産業（支店長）	- ・現在の引き合い状況からみると、横ばいである。 ・年度末の飛び込み受注が期待できるが、一過性のものなので全体として景気回復までは期待できない。 ・景気が良くなる兆しがみられない。	
		やや悪くなる 悪くなる	- -	- -	
		雇用 関連	良くなる やや良くなる	- 人材派遣会社（営業担当） 求人情報誌製作会社（営業担当）	- ・年度末に向け、求人数の増加が期待できる。 ・前年同月比での求人数、求職者数の上昇は不透明なもの、新卒の需要期で合同企業説明会などがあるため、現在の周辺企業の動きから予測するにやや良くなる。

変わらない	人材派遣会社（経営者）	・今の需要が年末年始向けの特別のものであるならば、この状態は短期でしかない。長期に結び付くかどうかは、まだ見極められず、短期で終わるのであれば、時期が過ぎれば元に戻ると考えられることから、今後は変わらない。
	職業安定所（職員）	・求職申込数は前年同月比で新規は30.4%、月間有効は13.7%とそれぞれ増加しており、過去11か月間の推移をみると、ともに増加傾向にある。また、求職者は滞留し、いったん離職すると再就職が厳しい状況となっており、特に新規求職者申込では雇用保険受給者及び県外希望の求職者が増加している。新規求人数は前年同月比で81.6%増加しており、過去10か月間の推移をみると増加傾向にある。今後も数値的には改善し、求職者数、求人数ともに増加傾向で推移すると考えられるが、依然として両者間にはミスマッチがあり、雇用情勢は今後も厳しい状況が続く。
やや悪くなる	学校〔専門学校〕（就職担当）	・企業は雇用形態や支出抑制などにより体制のスリム化を図っており、ようやくこれから純益が出るというところであるが、消費税引上げや定率減税、補助金カットなどにより、将来への不安がますます増大し、雇用状況にも影響する。
	学校〔大学〕（就職担当）	・県内観光の先行きはやや伸びるものの、公共工事を主体に大型設備投資が見込めず、建設業界を中心に全般的に県内景気は下降すると予測されることから、企業求人にも影響が出る。
悪くなる	-	-